

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

研究課題 (2022030)	外来がん化学療法におけるトレーシングレポートの有用性および医療経済性評価
担当部署及び研究責任者	薬剤部 鈴木 健太
利用目的	<p>近年、病院で外来がん化学療法を受ける患者様を対象に、病院薬剤部と保険薬局が連携して薬学的管理を行う取り組みが全国的に進められております。その情報共有の1つとして、保険薬局が対象患者様に電話フォローアップ等を行い聴取した情報について病院薬剤部に報告する取り組みを当院でも行っております。その報告書をトレーシングレポートと呼びます。本研究は、トレーシングレポートによる情報共有の取り組みの有用性と医療経済性効果を検討する目的で行います。</p> <p>このような検討事項を、下記対象期間で外来がん化学療法を受けた患者様から得られたデータを用いて分析します。その意義を検証することで、今後のさらなる病薬連携強化の促進に寄与すると思われます。</p>
研究の対象者及び対象期間	当センターで外来がん化学療法を行った患者様 80-90 例 対象期間：令和3年6月1日～令和4年5月31日
研究の方法	外来がん化学療法を受けた患者様の中で、年齢、性別、がん腫、臨床病期、薬剤情報、検査値、合併症・既往歴、診療記録、病院薬剤師又は保険薬局薬剤師による提案内容およびその転帰などのデータを抽出する後ろ向き観察研究です。
問合せ先	+81-048-536-9900 内線 6037 薬剤部 鈴木 健太 (すずき けんた)